



訓育部だより

愛徳学園中高等学校

訓育部長 齋藤典正

春の訪れを感じる桜の開花の一報が先日ありました。春は一步一步近づいていますが、一方で連日新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大が世界中に広がっています。現在、世界レベルでワクチンの開発がされています。一日も早い新薬の開発と、感染が収束に向かうことを願うばかりです。デマ情報に振り回されることなく、正しい情報を常にキャッチし、この非常事態を乗り越えていかなければなりません。

学園でも学年末の大切な時期に臨時休校という事態を余儀なくされていますが、職員でアイデアを出し合い、春休み中や新学期に向けて、生徒たちの成長に何ができるのかを考え、ICTを活用した学習を行なえるようにしています。今の困難に対して、正解はないかもしれませんが、しっかりと目的意識を持ち、学園がこれまでレインボープログラムとして取り組んできたことが、今こそ、試されているのではないかと身を引き締めて取り組んでいます。

ご家庭においては、お子様だけの留守番を余儀なくされることによって、不安なこともあると思います。防犯対策として、周囲に子どもだけで留守番をしていることを悟られないことが肝心です。無人の家に帰るときはわざと大きな声で「ただいまー!」と言うことや、戸締りの徹底や、知らない番号からの電話に出ないこと、来客に対してインターホンであっても出ないことが大切です。更に、近所に信頼できる避難場所が必要です。不要不急な外出を控えると共に安全で安心な生活のための対策やアイデアが必要となってきました。

また、家庭の過ごし方も、時間を持て余し、生活習慣の乱れやネット依存などの心配も懸念されますが、狭いスペースでもできるようなストレッチや読書・音楽や映画鑑賞など、様々な対応策をお願い致します。先日、TVでご覧になられた方もいらっしゃるかも知れませんが、一例として、洗濯や洗い物などのお手伝いに対して何Payと決めて、貯めていき、60Pay溜まると60分好きな時間に使えるという内容でした。このような時だからこそ、各家庭で様々なアイデアを出し合いながら、互いに支え合い、明るく過ごすことが大切なのだと感じました。

最後になりますが、本校の教育活動に1年間ご理解ご協力くださりありがとうございました。学園では一人ひとりを大切に、互いを尊重し、助け合い、学習や行事、部活動において学び合ってきました。「自ら考え、人に奉仕し、充実した人生を歩む女性」を育成するという本校の「教育ビジョン」を掲げているように、この窮地にあっても、各自が、今、何を目指して取り組むべきなのかを、明確に持ち、実行して欲しいと願っています。4月から始まる新学期が正常にスタートできることを願い、前向きな気持ちで、この春休みをお過ごしください。

《中学部より》

中学部は、「安心できる集団」づくりを目標に、全体で一致して2つのことを実践しました。1つは「移動時の沈黙」、そしてもう1つは「朝の読書を静かに始めること」です。講堂朝礼に向かうときには、中3を先頭に、全学年が静かな状態で移動しました。朝の読書については、どの学年も本鈴が鳴る前に、自分たちで始めていました。年度初めに決めたことを1年間続けられたことは、素晴らしいことだったと思います。

行事では、毎年恒例の「歓迎遠足」や、体育大会での「中学部ダンス」において、学年を超えて支え合い、成長することができました。3学期には、新しい中学部行事として、「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを中3が準備してくれていましたが、臨時休校のため、行うことはできませんでした。また来年度に引き継ぎたいと思っています。

今年度は、各学年の成長段階を大切にしながらも、中学部一体となってより良い学校生活を目指して頑張ることができました。保護者の皆様のご支援、ご協力には本当に感謝いたしております。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

《高校部より》

高校部は、2月15日(土)56回生の卒業証書授与式を行い36名が無事、愛徳学園を巣立っていきました。卒業式の前日には高1、高2のクラス委員の企画進行による予餞会が行われ、高校部の皆で卒業していく56回生と思い出のひと時を過ごすことができました。

しかしその後、国から「新型コロナウイルス感染症防止対策」の要請があり、本校でも2月28日(土)から突然の臨時休校になってしまいました。そのため、3月以降の行事が実施できなくなり、3学期期末考査後に実施する予定であった「高1のマナー学習」や3rdステージプログラムである高2の「未来予想図」のプレゼンテーション、「高3生と集い」などの行事を行うことが出来ずとても残念でした。

この春休みは、いつもと違う日々を過ごすこととなります。生徒たちは部活やお家での行事などが無くなりストレスを感じることも多々あると思いますが、このような日常だからこそご家族で必要なことや出来ることを考え、この状況をどう乗り切っていくのかを話し合ってもらいたと思います。

4月からはそれぞれ次の学年へと進級いたします。良いスタートができるようご家庭でもお励まし、お見守りください。

《第108期全校委員》

第108期全校委員は、活動のスローガンに「1つ1つ心を込めて自主的に行動しよう」を掲げ、日々の自治活動や学園祭・体育大会・震災メモリアルなどの各行事に目標をもって取り組んできました。裏面に震災メモリアルの全校委員の感想を掲載していますので、ぜひご一読ください。

第109期全校委員については現在、中学部から12名、高校部から7名の立候補者がありました。これも第108期全校委員の活躍をこの1年間見てきたからこそ、ぜひ私もあるような活動がしたいという、意気揚々とした気持ちの表れのように感じています。第108期の全校委員の活動に感謝するとともに、第109期に選ばれる生徒たちの活躍に期待していきたくと思います。

《震災メモリアル・全校委員の感想から》

今回は、阪神・淡路大震災と東日本大震災の追悼を一緒に行いましたが、わかりやすく伝わっていたらいいなと思います。通学路のハザードマップを自分たちで作り、実際に毎日歩いている通学路で注意すべきところを知ることができたので、登下校の際も気を付けようと思いました。今回調べていくうちに、自分たちで防げる被害がとても多いことを知り、それをみんなに伝えて、分かってもらって、実践してほしいと思いました。実際にこの愛徳学園も被災したと思うと、当時の方々の復興への思いが強く伝わってきました。倒壊した校舎ができあがるまでの期間の、当時の方々の気持ちを全て知ることはできませんが、今を生きる私たちが、当時の方々と同じ強い気持ちで学園をより良くしていくことが大切だと感じました。

《奉仕活動》

3学期も親の日・お米の日の奉仕活動にご協力くださり、ありがとうございました。2月までの親の日の募金は、合計で209,979円、お米の日に集まったお米は、合計で234.25kgとなりました。自分たちと同じ年代の里子が学校に通えるようにと呼びかけていますが、3学期は奉仕委員がリーフレットを作成し、ご家庭でも貼って頂くことで思い出し、協力してもらえたらと工夫して取り組んできました。3月の親の日・お米の日に集めることができませんでしたが、新年度に3月分と4月分を集めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。また、ペットボトルキャップの回収にもご協力くださりありがとうございます。2学期はポリ袋3袋分集まり、7,880個（ポリオワクチン6.5人分）、累計で21,200個送ることができました。3学期分は新年度に送らせていただく予定です。こちらも引き続きご協力をよろしくお願い致します。

《保護者の皆様へのお願い》

- ◇ インターネットの利用に関しては、ご家庭でも使用時間・場所などのルールを決めて頂き、ネット依存やゲーム依存の防止にご協力をお願い致します。また、学校名や個人名などの個人情報、本人や友人の動画や画像を載せたりすることのないようくれぐれもご注意ください。何か困ったことがあれば、学校や下記の兵庫県警本部サイバー犯罪対策課・少年相談室へご相談下さい。

※サイバー犯罪の相談

⇒県警本部サイバー犯罪対策課（078-341-7441）

※犯罪などの被害にあったとき

⇒県警本部少年相談室（0120-786-109）



- ◇ 始業式までは現担任が指導に当たりますので、何かありましたらお知らせください。

◆新年度始業式は4/8(水)9時登校です。制帽を被り、身だしなみを整え、心身ともに新しい気持ちでスタートしましょう。